



さとやま

今月の見どころ

夏の花

8月、さまざまな夏の花たちが里をにぎわします。朝・夕の涼しい時間に、熱中症対策をしっかりとってそんな花たちを訪ねてみましょう。

又マトラノオは菖蒲園の南端や、田んぼエリアの湿地で見られます。長い花穂を虎の尾に例えて名がつけました。



又マトラノオ



アキカラマツ

アキカラマツは、ピオトープ上の池付近で見られます。カラマツの葉を思わせる黄緑色の小さな葉を、枝先に群がるように咲かせることから名が付いたと言われていいます。「秋」とついています。秋には花は終わってしまいます。民間薬で胃腸薬などに使われます。



オトギリソウ



タンキリマメ
花と秋の実



クサギ
花と秋の実

オトギリソウは、午前中に花を開き、夕方には閉じてしまいます。花びらやがくをよく見ると小さな黒い点がたくさんみられます。昔、この草を原料とした秘薬の秘密を漏らした弟を、兄が斬り殺したときに飛び散った血の跡だというのが名の由来で、実際に止血や鎮痛の薬効があります。里では、田んぼエリアや万燈山山頂付近で見られます。

タンキリマメは、田んぼエリアやトンボの里、万燈山エリアなどで見られます。黄色い花が終わると真っ赤なさやの中に黒い豆が入っています。それを食べると、たんを止める作用があると言われていいますが、定かではありません。

クサギの花は強い芳香を放つので、近くを通るとすぐに気が付きます。アゲハチョウのなかまがたくさん集まってくる。ところが葉をもむと、ビタミン剤のような変わった臭いがします。これが名前の由来です。秋になると、赤と青の派手な色の実がなります。

サフゾーンでは

万燈山へ向かう道では、ヤブミョウガの花が見られます。葉がミョウガに似ているので名がつけましたが、ミョウガのなかまではありません。

万燈山山頂では、シラヤマギクや、ママコナなどそこでしか見られない秋の花が咲き始めますが、お盆に行われる「かぎ万燈」の行事のため、刈られたり、焼かれたりしてなくなってしまいます。



ヤブミョウガ



シラヤマギク



ママコナ

7月の行事紹介



講座「ジメジメきのこは大にぎわい」に石川まゆみさんを講師に迎え、7月6日(土)に開催した。

雨季でジメジメした園内を繁殖する色とりどりなキノコを約20種近くも採取し、中には霊芝の名前で知られる「マンネンタケ」やみんなの知る「キクラゲ」も発見して少し感動しました。

自分で採ったキノコを食べたい気がほんの少し、けれど毒キノコにも不安いっぱい。やはりスーパーで買ったキノコが一番だと思いました。

8月の行事予定

- ・クワガタ探そう 8月 4日(日) 午前9:30 ~ 11:30
- ・さとやま工作教室 8月 11日(日) 午前9:30 ~ 11:30

※「ザリガニ釣り」を8月のみ開催します。時間は午前9時から午後4時まで、当日の受付で予約はできません。【8月の休園日：8/5、5/13、8/19、8/20、8/26、8/27】

9月の行事予定

- ・野草で紙すきを試みよう 9月 7日(土) 午前9:30 ~ 11:30
- ・里山を絵手紙にしてみよう 9月 22日(日) 午前9:30 ~ 11:30
- ・バスハイク「鳳来寺山自然科学博物館」 9月 27日(金) 午前8:30 ~ 16:00

※参加受付は、各行事2週間前の午前8時30分から先着順で来園・電話受付のみとなります。
※バスハイクは、鳳来寺山に生息する生き物や植物を観察します。市バスを使い弁当など持参で向かいます。【6歳未満のお子さまは「チャイルドシート」をご持参ください。】

西尾いきものふれあいの里

ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

休日 毎週月曜日及び祝日の翌日 発行 西尾市環境部環境保全課